

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

4校園の特色ある活動を推進・連携し子どもの夢と希望をはぐくむ。

今年度の取組紹介

『助ける側になるために』

～地域とまなび 地域にまなぶ～

「キッズ消防士・ジュニア救命士育成講習受講制度」は消防署・消防団・防災隊等の地域ぐるみの指導・協力のもと学校園との調整、授業体験を重ねて防災学習プログラムとして企画をより良く重ねながら、運用を継続しています。子どもたちは子ども園から中学校までの11年間の学びをつなぎ、地域の中で「助ける側」に少しずつ成長し、生きる力を育んでいます。

今年度は「防災フェス2017」で『災害現場等における救急処置』を市立奈良病院や高の原中央病院初め地域の13名の医療従事者の指導の元、グループに分かれて研修を実施しました。教員が負傷者役となり、大人から小学生まで熱心に取組む姿がありました。



今年度のまとめ

中学校区全体で事業に取り組む事を大切に考え、イベント・ボランティア活動を企画しました。地域全体を巻き込み、学校・家庭・地域がお互いの役割や機能を十分に理解し、連携・協働していく仕組みをつくる役割を協議会の活動が担うことを願います。

ボランティアのそれぞれの活動が年間を通じて定期的、継続的に行われ、学校支援の輪は保たれています。しかし支援者の高齢化と地域全体に事業の周知はいまだ途半ばと思われ、広報の工夫はコーディネーター活動の課題です。

来年度に向けて

- ・取組を振り返り、活動の見直しを行い、運営方法、形体の簡略化を計りたいです。
- ・伝わる広報活動を心掛け、事業の理解を深め、活動への参加者を募ります。
- ・子ども達が自ら動けるエネルギーを引き出すための企画を立ち上げたいです。
- ・広い視野を持って、中学校区で取組む活動をスタートします。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

- ・子どもたちの豊かな学びの場をつくりあげていくため、図書環境、地域環境、地域とのつながりを意識できる環境の整備を行いながら、子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組へとつなげる。
- ・防災体験学習やゲストティーチャー招聘などの事業を通し、地域の多くの方々との出会いやつながりをもつことによって、学校が地域の課題(防災)への取組の場となり、子どもたちの心や夢を育む豊かな学びの場となるようにする。
- ・中学生を地域のリーダーとして小中協同の防災訓練の取組をすすめる。

今年度の取組

今年も中学校を中心とした地域の防災活動、人と人との絆を大切に地域との交流を深める取組をポイントとして活動を行いました。

◆防災フェス 2017

8月5日(土)、消防署や消防団ほか様々な団体の協力を得て児童・生徒・保護者や地域住民あわせて300名を超える参加の中、「助ける人になるために ～地域とまなび、地域にまなぶ～」を合言葉に

「防災フェス 2017」を行いました。研修コーナーでは、現役の医師や看護師の方々から「災害現場等における応急処置」を学びました。本や買い物袋など身近にあるものを使って止血や骨折時の対応の仕方を学んだり、災害現場でのトリアージ(患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行うこと)の必要性について教えていただきました。体験コーナーでは、新聞紙スリッパや牛乳パックの紙を使った笛作りなど災害時に必要なものを身近な素材で作成したり、消防署・消防団の方々の指導のもと、放水体験が行われました。他にも地域の皆さんによる丸太切体験や点字体験などの体験コーナーが行われ、普段できないことをたくさん経験することができました。



◆地域一斉清掃

12月2日(土)中学校周辺の一斉清掃を、地域の方々と共に取り組みました。200名を超える参加があり、中学校・神功小学校・神功こども園周辺の落ち葉清掃・溝掃除に汗を流しました。「ご苦労様」と声を掛けて頂き、生徒たちは地域の一員であることを実感していました。



今年度のまとめ

地域ボランティアのみなさんによる日々の環境整備活動・図書室支援活動において、中学校では地域の方々との交流がごく自然な当たり前の風景となっており、生徒は地域の人々とふれあい、見守られていることを理解し、安心して学校生活を送ることができています。また「防災フェス 2017」や「校区一斉清掃」においては、貴重な体験を通して防災や地域環境への意識が高まると同時に、普段は学校と直接かかわることがない地域の方々と接することで、地域住民としての自覚も芽生えています。

来年度に向けて

地域における中学生の存在が、防災活動でも重要になってきています。「防災フェス」の中身も含め、取組のより一層の充実と改善を図り、「頼られる存在」としての自覚をもたせたいと考えています。また来年度は学習面においても地域の協力を得るなど、ボランティアの皆さんと一緒に活動する機会を増やしていくことによって、さらに地域の一員であるとの意識と同時に感謝の気持ちをもたせられるようにしていきたいと考えています。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける**心豊かなたくましい子**

取組目標

地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる

今年度の取組紹介

○右京地区防災訓練（11月12日）

当初は10月22日に予定していましたが、選挙のため11月12日に変更となりました。急遽変更となりましたが、6年生が防災訓練ポスターを描き、掲示でアピールしてくれたおかげで、保護者・地域の方・本校教職員と多数参加いただき実施することができました。放水訓練、大声コンテスト等、様々な体験活動を通して防災意識を高めることができました。

○北部会館「地域との交流会」（1月13日）

今年で7回目を迎える北部会館での「地域との交流会」は、多くの保護者や地域の方々が来場し、盛会のうちに終わりました。小学生の



ダンス・歌・手品やお箏の演奏、平城高校の弦楽合奏や、同志社大学のマジック&ジャグリング、NPO 法人サークルおてんとさんの環境クイズといった多彩なプログラムを楽しんでいただき、地域の方々との交流がいっそう深まりました。



<来場者感想より>

- ・各学年の児童の発表はリズム感がありとても上手でした。
 - ・お琴の演奏を聞いて、よく練習されたなと感心しています。
- ・ほのぼのとした交流会でした。心がとてもあたたかくなりました。来年も楽しみにしています。
- ・子どもたちの活発な姿を拝見して素晴らしいことだと感じました。参加して良かったです。

今年度のまとめ

- プール学習と水泳教室に、地域の方と共に5年連続で外部機関から講師を招聘したことは、児童の泳力向上に成果がありました。泳げることに自信をもち、意欲的に授業を受ける児童が増えました。
- 消防署の協力も得て各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や、地域の防災訓練への児童の積極的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。
- 北部会館での地域との交流会は、年々、地域と保護者、児童等の絆を深める取組になってきています。
- 環境ボランティアさんの活動や万年青年クラブさんの学習支援、右京おはなしの会の活動は学校力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

- 今年度のテーマ・目標・事業を継承し、さらに地域・家庭・学校をつなぐを深める取組を進めていきます。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

**“自分がすき、友だちがすき、この町がすき”と言える神功っ子を
地域と学校が連携協力して育てていく。**

今年度の取組紹介

◆ 防災フェス2017

8月5日（土）に『防災フェス』を実施しました。『防災フェス』は、これまでの神功小学校運営委員会主催の「学びフェス」と平城西中学校運営委員会主催の「防災セミナー」が一つになったものです。内容は、医師による「災害現場等における応急処置」、北消防署・女性消防団による「イベント」、地域の福祉協議会の「点字体験」、文化サークルの「茶道体験」、地域の方の「丸太切り体験」、スポーツ団体の「サッカー体験」、教員の「防災クイズ」、PTAの「非常食体験、防災おやつ作り」で、子どもたちだけでなく大人も共に学び合えるものでした。



◆ 落ち葉拾い



西中校区全体の清掃活動の取組の一つとして落ち葉拾いを12月2日（土）に実施しました。地域の方々、小学生、学校施設開放で神功小学校を使用されている方々、など約120人の参加がありました。今年は、中学生と小学生と一緒に清掃する場所があり、お互い協力しあいながら活動している様子が、ほほえましく、頼もしく感じられました。これも、継続的にこの事業を実施してきた成果だと思えます。

今年度のまとめ

地域ボランティアの方々に見守られて、安心して学校生活を送ることができています。また、防災体験学習事業やゲストティーチャー招聘事業では、貴重な体験を得ることにより防災や地域への意識が高まってきています。このような取組を通して、子どもたちの地域行事への参加や地域清掃などのボランティア活動への意識も高まり、参加者も増えてきています。防災体験学習事業では、右京小学校とも連携をとり、各学年とも同じ内容で実施しました。「助けられる側から助ける側に」をテーマに、『小学生の自分たちにもできることがある』と実感する機会となりました。

来年度に向けて

今年度から防災フェスは、西中校区全体のものとして位置づけ、小中で合同開催になりました。さらに、より良いものと発展できるよう今後も検討していきます。来年度も事業が継続的に実施できるようボランティアの募集もしていきます。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標

ふれあい・つなごう・笑顔の輪

今年度の取組紹介

絵本の読み聞かせ活動事業では、おはなしくれよん（神功地域）と右京おはなしの会の2つのグループが関わってくださり、たくさんのお話の世界にふれることができました。奈良市初の分園型のこども園になり、園児数が急増したことや1号認定児及び2号・3号認定児が共に過ごしていることで、どちらのグループでも実情に合わせて、おはなし会の進め方を工夫してくださいました。幼児棟のおはなし会では、3歳児（時には2歳児も一緒に）と4・5歳児の2回に分けて実施し、内容もそれぞれの年齢に応じた絵本や紙芝居、パネルシアター、人形劇を見せていただきました。同じ内容の物をそれぞれの回でして下さった時には、3歳児の反応と



4・5歳児の反応が全く異なり、年齢の差を感じたことも。また、1号認定児の降園後のおはなし会や夏祭りでのおはなし会では、保護者の方にも子ども達と一緒に楽しんでいただく機会をもつことができました。

栽培活動事業では、給食がはじまったことで、地域の方と給食室とのご協力のもと、園の菜園で子ども達が朝に収穫した野菜や果物（スナックエンドウ・イチゴ・トマト・ピーマン・ナス・玉ねぎ・カボチャ・大根等）をその日の給食に加えて頂き、採れたての美味しさを味わうこともできるようになりました。

今年度のまとめ

こども園になり、職員間でいろいろ話し合いながら手探りの一年でしたが、地域の方の温かいご理解とご協力を頂き、子ども達はいろいろな方との交流やたくさんの方の直接体験、感動体験ができました。地域の方や保護者の方から「園児が増えて活気があっていいね」「様々な活動ができて嬉しい」「いろいろな人とかかわることができるようになって良かった」などの声も頂いています。

この事業を通して、子ども達はいろいろな人とのふれあいを通して様々なことを知り、遊びに取り入れ、想像力を育み、感情や言葉がますます豊かになりました。

来年度に向けて

園児数が増えたことで、活動の工夫（全園児でしたり、活動によっては学年毎に行ったり、対象学年を絞ったり等）をし、地域の方や保護者にもご協力いただきながら、ふれあい体験活動の充実を更に図っていきたいです。今年度は、園のホームページの更新がなかなかできなかったもので、もう少し事業の取組内容なども含めて情報発信できるようにしていきたいと思っています。